



茨城県版

2021年 11月号  
令和3年

No.236

発行/日本ベトナム友好協会本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10 TEL 03-5981-8795

制作/日本ベトナム友好協会茨城県連合会

〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内 TEL 029-224-3500

# 国際協力推進を目指して

## JICA筑波が表敬訪問

11月11日JICA(独立行政法人国際協力機構)筑波の石沢祐子連携推進課長と荒井英恵主事、茨城県国際交流協会内にあるJICA茨城デスクの新井江梨子国際協力推進員が青少年

育成活動や留学生、技能実習生の支援を行っている茨城県連合会の山口会長を、表敬訪問しました。  
右から新井推進員、村田事務局長、山口会長、石沢課長、荒井主事、留学生ウイさん



## JICA筑波の活動

JICA筑波は、1980年に設立され2020年で40周年を迎えました。

主に茨城県と栃木県を担当し、技術協力や資金協力(ODA)政府開発援助の二

国間援助の技術協力・有償資金協力・無償資金協力)をはじめ、農業や防災の研

修事業のほか、草の根技術協力、中小企業のSDGs

(持続可能な開発目標)ビジネス支援、開発教育支援、JICA海外協力隊など様々な活動を行っています。

筑波には筑波インターナショナルセンターがあり、海外からの研修生を受け入れ、農業分野など技術指導などを行っています。

## 県連との協力

青少年育成活動に力を入れてきた県連も、コロナで困窮している留学生や技能実習生をはじめ、様々な国からの労働者や、市町村との連携での支援活動、県内の多文化共生など一端を担ってきました。

山口会長は「コロナによって県連も本来の活動ができず、現在県内の外国人

に向けての支援活動に力を入れて活動している。ぜひ、JICA筑波と協力をした活動の範囲を広げていきたい」と挨拶し、石沢連携推進課長も「このような機会を設けていただき感謝しています。ベトナムとの関係も強化している現在、何ができるかを考えて、ぜひ連携させていただきたい」とこれからの協力を約束しました。

## 県内企業との連携も

JICA筑波は、10月8日、株式会社常陽銀行、ジェトロ茨城、ジェトロ・アジア経済研究所、公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構と共催し



「茨城県よろず支援拠点の協力、中小企業×海外展開×SDGs」をテーマとしたオンラインセミナーを開催しています。

ポストコロナを視野に開かれた海外展開、特に開発途上国でのビジネス展開を検討中の企業、SDGsに貢献する事業を検討中の行政・金融機関から多数参加しています。

今後は、新たな活動の展開に向けて、JICA筑波との協力にも力を入れていきます。

## 「新春のつどい」中止

来年2月に開催を予定していましたが新年恒例の「新春のつどい」は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、中止いたしました。

国内においては現在のところ、感染者の数は抑えられつつありますが、海外では未だ収束は見通せない状況で、再び感染拡大の懸念が有ります。

このため、出席される皆様の安全を考慮し中止の判断をいたしました。

県連事務所は青少年会館が工事のため12月19日から翌1月6日までお休みいたします。

# 土浦市で支援活動

## ちえ 土浦市国際交流協会、治枝の 会が協力し支援の輪を広げる



支援物資を手渡す飯島副幹事長(左)

12月5日、土浦市木田余の二中地区公民館で外国人労働者、留学生の支援活動を行い、米3キロ、カップ麺、乾麺、菓子など80人分を配布しました。

### 各団体と支援活動

午前9時から県連の小野昭夫副会長、飯島洋一副幹事長と土浦市国際交流協会の藤田佑子会長、治枝の会の栗栖恵子会長、土浦ユネスコ協会などボランティアの方々に参加し、支援活動がスタートしました。

### 外国人の厳しい現状

現在土浦市には約4400人を越える外国人が生活しており、県内ではつくば市、常総市に次いで3番目に多く、そのほとんどは技能実習生や専門学校生、日本語学校に通う学生です。コロナが落ち着きを見せ



てきたとはいえ、彼らをとりにまく状況は、日本に来る際の借金の返済や家族への仕送り、就職や進学に備えてアルバイトで資金を貯めるなど、なかなか厳しい現状があります。

### 先生に会えて笑顔

当日は日本語能力検定試験が行われたため、支援物資を取りに来られた人は少なかつたものの、仕事の合間に会社に話をし取りに来たというチャン・クアン・ズイさん(29)は「うれしいよ。楽しい気持ちになりました。仕事は大変ですけど、お米もらったから頑張ります」と話し研修中の仲間のお米も担いで笑顔で仕事に戻っていきました。日本語能力検定試験で取りに来られなかった専門学

校には、土浦市の協力の後日配布の予定です。土浦市国際交流協会は長年ボランティアで日本語を教えており、参加していた日本語の先生に久しぶりに会えた若者たちは「私の日本語の先生」と笑顔を見せ、抱きついて喜ぶ姿も見られました。また、治枝の会のみさんが折り紙や独楽を大量に準備し、一人ひとりにプレゼント。遊び方を説明すると「とてもうれしい作ってくれたんですね」と大喜び。外国籍の若者たちは、支援物資やプレゼントを抱え、喜んで帰っていきました。小野副会長が近所で働くベトナム人技能実習生を迎えに行くなど、一人でも多くの人に支援をと奮闘しました。各団体と協力して活動できたことで、多くの情報交換や今後の協力を約束できました。協力してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

 総合建設業 鈴縫工業株式会社

 関彰商事株式会社

 NPO (特定非営利活動法人) 日本スポーツ振興協会

 株式会社 鹿島アントラーズ FC

 アイザワ証券

 正直に兀兀と 茨城県信用組合

 語り合う、人・街・水。 NAC ヒューナック

 コスモ総合建設株式会社

 GB グリーンビジネス協同組合

 筑波記念病院 TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

私たちは友好親善の懸け橋 機関紙の発行を応援します

# 令和三年度第一回幹部会議

## 今後の行事や活動について話し合い

県内の新型コロナウイルス感染症の落ち着きを受けて、10月28日、幹部役員、事務局が参加し第一回幹部会議を開催しました。

会議に先立ち山口会長から「コロナの落ち着きを受けて、こうして久しぶりにみなさんと集まり対面で会議ができることはとてもありがたい。既に支援活動は継続しており、さらに多くの方々から米をはじめたぐさんの支援をいただき、子ども食堂や県母子寡婦福祉連合会を通じて母子家庭への支援を行った。今後の

活動について、みなさんの考えをお聞かせいただき、更なる活動の発展に繋げたい」と挨拶がありました。今年度もすでに日本語学校をはじめ、県内の各大学や県ベトナム人会、県内在住のベトナム人会、常総市をはじめ各市町村と連携した支援活動を行っています。今後の活動について例年開催している「新春のつど

い」は、①大勢で飲食を共にする会は十分なコロナ対応ができないため開催を見送る。②年初に限らず状況を見て、安全な時期に「ベトナムのつどい」として開催する。ということに決定しました。また、現在の活動を考え、今後はNPO(特定非営利活動)法人として幅広い活動ができるように対応していくことも話し合われました。ベトナム大使館との連携や、茨城県をはじめ各市町村、県内の各団体、会員との協力を進め、青少年育成事業や留学生支援などをはじめ、新たな活動にも視野を広げて対応していくことを確認しました。



## 日越大学からのご案内

JICAより、ベトナム友好協会本部の古田会長が学長をされている日越大学の案内が送られて来ました。詳しくは県連のホームページをご覧ください。

**アジアの拠点**  
**ベトナムの日越大学で学ぼう!**  
多様な学生や研究者と学び合う、修士課程

日越大学の修士課程プログラムは、日本の大学がサポート!  
日本の大学と連携したカリキュラム・授業・指導で、国際水準の教育を提供。

修士課程プログラムは、日本の大学と連携!

Partner Universities: 日越大学, 茨城大学, 大阪大学, 高松大学, 東京大学, YNU 横浜国立大学, RITSUMEIKAN UNIVERSITY, WASEDA UNIVERSITY

Programs: 地域研究 (MAG), 環境工学 (MAG), 企業管理 (MAG), マネジメント (MAG), 国際貿易・開発 (MAG), 公共政策 (MAG), 社会政策 (MAG), 国際法・法務 (MAG)

お問い合わせ: info@vjuc.ac.vn, admission@vjuc.ac.vn, https://vjuc.ac.vn/en, https://www.facebook.com/VJA.jp

医療法人社団善仁会  
**小山記念病院**

社会福祉法人 寿広福祉会  
特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下

用地総合補償コンサルタント  
**三陽用地株式会社**

ひとりひとりの暮らしの近くに。  
**JA茨城県中央会**

社会福祉法人 二十世紀会

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

**Aoki アオキ株式会社**

美術品輸送から霊柩車まで  
**株式会社 アサヒヤ**

**ACT エーシーティ**  
ジェネレーター株式会社

自然と環境を大切に。 廃棄物高度リサイクル施設  
**株式会社 茨城環境企業**

(株) 中山敬二建築設計事務所  
KEIJI NAKAYANA ARCHITECTS

# 無料弁護士相談会が再開 技能実習生の状況について話し合い

新型コロナウイルス感染症の落ち着きを受けて11月7日、水戸市のベトナム・ストランで第6回無料弁護士相談会が行われ、数多くの相談が持ち込まれました。

## 外国人労働者の現状

杉田昌平弁護士によると現在、日本国内には約40万人の海外からの労働者が働いており、そのうち約38万人は普通に3年間技能実習生として働いており、約1万人が失踪、残りの1万人が外国人技能実習機構に困難な状況を相談し窮状を訴えています。

様々な問題の要因の一つ



右から杉田弁護士とアセアンの廣田氏

は、日本語学校や監理団体に問題が多くあり、低賃金や仕事のつらさ、コミュニケーションが十分にとれないこと、不安や不信感などから約3%の労働者が失踪しているのが現状です。

## 雇用許可制度への転換も

職種を変えることのできない技能実習制度から、現在韓国で行っている雇用許可制度への転換も必要ではないかという議論が起きています。

コロナが落ち着きを見せている現在、今後新規入国者も増えてくる兆しが見えてきていますが、新たな変異株が発生したことにより、11月30日から全ての国からの外国人の受け入れを政府が禁止しました。

新規の実習生が来ることで、それにより帰国困難で国内に残り働いている人たちの対応も、増えてくるのではないかと考えられています。

この日、無料相談に来た人は5人。その他は常時、

茨城県ベトナム人協会(在県ベトナム人の会)が相談者の対応をしています。

## 新聞奨学生さんのヒエンさん

ベトナム北部フート省出身のヒエンさんは、新聞奨学生で、新聞社からの奨学金を受けて新聞配達をしながら日本語学校で学んでいます。

20歳のヒエンさんは、午前零時から4時まで石岡市内で新聞配達をして、そこから日立さくら日本語学校に通っている留学生です。学費と家賃補助と給料を支給され「おかげで日本で勉強できてありがたい。卒業後は日本で働くために相談にきた」と話します。「きちんと教えてくれる人に相談したかった。自分に必要な資格や職種について詳しく教えてもらって安心しました」と笑顔を見せました。

相談の内容が、日々変わってきていますが、継続して無料弁護士相談会が行っていく予定です。

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

**Global HR Strategy**  
弁護士法人Global HR Strategy GHRS法律事務所

社会福祉法人 **祥風会**  
社会福祉法人祥風会

KAMAYA MOTORS  
**釜屋モータース**

土地・建物総合コンサルティング  
**株式会社つくばパブリック**

**Yakult** 水戸ヤクルト販売株式会社  
ミト、モット、ヤクルト

**JOKOH**  
保温・保冷・板金・塗装  
**株式会社 城光断熱**

外国人採用を  
お手伝い致します **株式会社アセアン**

Asia Human Training Development Organization  
一般社団法人アジア人財教育開発機構

**株式会社 君山重機**  
KIMYAMA JUKI

地域お助け隊 **Green TAXI**

**株式会社 大洋**  
TAIYO

特定総合建設業  
**株式会社 オリエンタル技建工業**  
ORIENTAL

農地所有適格法人  
有限会社 **ワールドファーム**

**株式会社 大洗工芸社**

# 茨城県警国際捜査課と意見交換

## 外国人犯罪者、不法滞在者を減らす取り組みを

11月19日、茨城県警察本部刑事部国際捜査課の関警部補が、県連事務所を訪れ、県内のベトナム人による犯罪や問題など、多くのことについて意見交換を行いました。

### 後を絶たない外国人犯罪

茨城県内においての外国人による犯罪者の検挙人数は昨年より減少しているものの、不法滞在や窃盗、無免許運転など問題は後をたない状況にあります。

県内に住む外国人は7万人を越え、中でもベトナム



人の数は年々増え続けています。

特に、鹿行や県西地区にはベトナム人の不法滞在者も多く含まれ、問題解決が急がれています。

### 不法滞在者になる理由

不法滞在者になる要因として、自国での研修中の説明と違い、十分な賃金が払われないことや、単なる労働者として扱われ、劣悪な生活状況やコロナで仕事を失った挙句、帰国が困難になったことなどが挙げられます。

監理団体が適切に対応していないなどの他、プロカーの存在が大きく、日本語があまり理解できない外国人に、自国の言葉で言葉巧みに誘い出すなどの問題も浮上しています。

### 多文化共生という視点で

外国人労働者は、県内の産業を担う大きな力とし

て、過酷な状況下でも一生懸命働いています。

日本で技術を習得して、さらに本国に戻り新たなビジネスをと夢見て日本に来ている若者も多く存在します。

特に多くの不法滞在者が茨城県に集まりつつあるという情報もあります。

私たちが多文化共生という視点で、単なる労働者と雇い主、近所に住む外国人ではなく、同じ地域で生活する人として関わっていく必要があります。

### 相談者の窓口

県連では、安全で安心して住み良い地域社会を確立するため、不法滞在者を雇用しない、不法滞在者を出さないよう努めていくなど、県警と連携し、県内に住む多くの外国人支援に当たってまいります。

不法滞在者については出入国在留管理庁や警察署でも相談を受け付けています。茨城県連の無料弁護士相談会でも相談できます。

みなさんのご協力をお願いします。

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

# 茨城で活躍するベトナム人

## 日本とベトナムをつなぎたい

### 東京農工大大学院同期のチャレンジ

ディン・ティ・ミンさんはつくば市でベトナム食品店AIMARTを経営し現在は石下駅の近くに2号店を準備中です。

ルン・バン・フィさんは東京農工大大学院でミンさんと共に国際環境農学の国際地域開発学教育研究を行った同期で、現在 Japan Vietnam Food株式会社の代表として、日本初の生のフォーを販売しています。大学院卒業後、ベトナムで修行し、日本に戻り自分で一から機械を造り、米も作り国内に生のフォーなどを開発し販売しています。



AIMARTで生のフォーを販売しているフィさん(右)とミンさん(左)

日本で最も有名なフォーの店、Pho Thin TOKYO新宿店の店長はフィさんの奥さん。現在では多くの日本人も通う人気のお店です。

10月8、9、10日、つくば市の支援を受けて創業した店などを集めた「つくば創業マート」がイーストつくばで開催し、二人のテントにはフォーを求めて多くの日本人が集まりました。「ここまで本当に大変だった。でも私たちは日本の皆さんにベトナムをもっと知ってもらいたい。また、みんなが集まる場所を作りたいと頑張ってきた。フィさんもまだまだ大変な中、美味しいフォーを日本のみなさんに届けたいと努力している。二人の夢に少し近づきました」とその大変さを振り返って話します。

つくば市竹園のAIMARTで販売しています。日本で頑張る二人を応援していききたいと思います。

## ハノイ大学生の日本語支援を開始

県連は公益社団法人ベトナム協会(東京都港区)と連携し、11月よりハノイ大学の日本語部の学生の日本語コミュニケーション支援を開始しました。

ベトナム協会は、大使館、大学、越日友好協会、ベトナム外務省や多くの企業が参加している公益社団法人。県連も会員として協力し、留学生、技能実習生、技術者や企業進出、貿易、教育、文化などの相談や協力を行っています。



現在2人の学生のコミュニケーション支援を毎週火曜日の夕方、一時間程度行っています。

「日本語をもっと勉強したい」「日本のアニメが好きで、日本文化にとっても興味がある」と目を輝かせる学生たち。彼女たちの前向きさに私たちが意欲をもらっています。

今後はフエ外国語大学との連携も視野に入れて活動を広げて行く予定です。

### ■新入会員

▽株式会社中川楼・川又実千代(水戸市) 敬称略

○ 秋の風 今月の川柳  
どっこい 生きてる

吾米寿 われ  
人見章太郎

○ キンモクセイ 香り漂う 散歩道

海老根 巖

この機関紙保存版は、ホームページ用に圧縮しているため、広告サイズを縮小しています。

詳しくはホームページ画面上部の広告主リンク一覧、もしくは隔月発行の機関紙をご覧ください。

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

掲載サイズ赤枠部

機関紙「日本とベトナム」

茨城県版広告掲載のお願い

年度分掲載料3万円

掲載のお申し込みは県連事務局まで

☎029-224-3500